

**問** プラスチックの削減に向けて

石油由来のプラスチックが海中に蔓延している。鯨や亀などが飲み込み苦しんでいる。マイクロプラスチックと呼ばれる小片となり人体にも入り込んでいる。焼却せざるを得ず地球温暖化につながる。プラスチックのない世界に向けて取組むべきではないか。

**答** 広域での検討・協議を進めていく

プラスチック問題は、多くの自治体と連携し対応していくことで効果を発揮するものと考えている。今後、県の事務研究会に提案するなど、広域での検討・協議を進めていきたい。また、市でも、環境基本計画の見直しにあたり、環境審議会において協議していく。



齋藤信治 議員 (TSUNAGU)



**問** ホームスクーラーの実態を把握し支援を

不登校の子どもで自宅等を居場所として学習している子どもがいる。ホームスクーラーと呼ばれている。孤立しているわけではなく、ネットワークを形成している。実態を把握し、こうした子どもたちや保護者の声を聞き、適切な支援をすべきではないか。

**答** ホームスクーラーに対する支援を図る

不登校児童生徒への多様な支援の在り方について研究していく。組織体制の整備を図るとともに関係機関との連携をより一層充実させ、児童生徒および家庭に寄り添いながら、多面的・多角的な支援の在り方について検討し、確実な教育機会の確保を推進していく。

**問** 当市の防災対策について伺う

迅速かつ正確な情報を届ける必要がある。その情報伝達手段について伺う。①スマホ版の市ホームページの作成はいつになるのか。また、なぜ台風19号においてSNSを活用しなかったのか②知りたい情報を市民が選べる電話自動音声サービスの拡張はいかがか。

**答** 音声ガイドについて調査・研究していく

①スマートフォン対応への予算化に向け検討を進めていく。各関係機関からの情報収集やその整理などにより、最適なタイミングで様々な情報発信ができなかった。②十分な防災情報を提供できる手法として音声ガイドによる情報提供について調査・研究していく。



野々口眞由美 議員 (TSUNAGU)

**問** 教員の労働環境について伺う

休日も含めた時間外労働の実情、部活動ガイドラインの遵守状況、外部コーチ導入状況について伺う。また、教員間のいじめやパワハラの有無。精神疾患による病気休暇や休職者の人数。メンタルヘルス研修の実施状況について伺う。

**答** 働き方改革に努め、労働環境を改善する

時間外労働平均は、国の基準を上回っている。ガイドラインを遵守していない状況も見られる。外部コーチ20名。いじめやパワハラは確認されていない。過去3年間の病気休暇4名、休職6名。研修は毎年実施している。労働環境改善のため働き方改革に努める。

